

木更津市中心市街地活性化協議会
令和5年度第2回会議 会議録

日 時：令和5年11月21日（火）16：00～17：05

場 所：木更津市立中央公民館 第7会議室

出席委員（敬称略）

団体名	役 職	氏 名	備考
木更津市富士見通り商店街振興組合	理事長	吉田 弘	
木更津一番街商店街振興組合	理事長	立川 明義	
日東交通株式会社	代表取締役	小宮 一則	
小湊鐵道株式会社	木更津営業所 副所長	山本 義治	代理出席
京成タクシーかずさ株式会社	営業部長	益田 秀一	代理出席
一般社団法人木更津市観光協会	会長	野口 義信	
イオンモール株式会社	ゼネラルマネージャー	藤田 有作	
京葉銀行 木更津支店	支店長	二木 伸幸	
館山信用金庫 木更津支店	支店長	齊藤 啓	
千葉銀行 木更津支店	支店長	内山 雅博	
千葉信用金庫 木更津支店	支店長	鈴木 敦哉	
一般社団法人かずさ青年会議所	理事長	金見代 雄	
一般社団法人まちづくり木更津	理事	齋藤 武	
日本大学	教授	北野 幸樹	
木更津市	副市長	田中 幸子	
木更津市	企画部長	石井 宏典	
木更津市	経済部長	伊藤 昌宏	
木更津市	都市整備部 次長	兵藤 雅宏	代理出席

配付資料

- ・木更津市中心市街地活性化協議会 令和5年度第2回会議 会議次第
- ・木更津市中心市街地活性化協議会 令和5年度第2回会議 出席者名簿
- ・木更津市中心市街地活性化協議会 令和5年度第2回会議 席次表
- ・資料1-1_中心市街地活性化基本計画の変更一覧表
- ・資料1-2_新旧対照表
- ・報告1_木更津市中心市街地活性化基本計画第2期策定について
- ・報告2_令和5年度木更津市中心市街地活性化協議会ユース部会活動報告

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 中心市街地活性化基本計画の変更申請について

中心市街地活性化基本計画の変更申請について承認された。

4 その他

(1) 木更津市中心市街地活性化基本計画第2期策定について

[質疑]

立川委員：アンケートの対象数を市民2,000名、事業者100名としたのはなぜか。
また、今回の標本誤差はどのくらいなのかお聞かせいただきたい。

事務局：現行計画策定時には市民3,000名を対象に郵送にてアンケートを実施しており、今回は前回より少ない人数だが、WEB回答もできるようにしているため、前回よりも回答率の上昇が見込まれることから2,000名としている。事業者アンケートについて、前はホームページのアンケートに回答していただく形で実施し、70社ほどから回答があったことを踏まえて今回は100社と設定している。標本誤差については確認の上、後日回答する。
(11月22日 回答者数を50%程度と見込み、標本誤差としては【±3.09%】の範囲内となることを想定して実施する旨回答。)

北野会長：アンケートを実施するうえでの留意点として、アンケートの対象とする人の属性を調査しないとアンケートをとってもあまり意味がないため、アンケートを実施するうえでしっかり属性の調査をしていただきたい。例えば、駅を利用するのか、しないのかも回答がまったく違うので、そういったところを明確にして調査をしていただくと、2期目の計画がよりよいものになると思われる。

小宮委員：今の標本の話に関して、当社の事例だと、鳥居崎海浜公園の施設の完成と同時に付近のローソンの前に高速バスのバス停を設置した。こちらはイオンモール木更津から木更津駅を經由して東京に行くバスであるが、その間に鳥居崎海

浜公園の入口が位置しており、東京からのお客様の入り込みを目的として、こちらのバス停を設置した。実際にそういったお客様もいらっしゃるが、そのお客様以外に中心市街地のマンション住民の方が、鳥居崎海浜公園のバス停から東京に向かう際に利用することもある。そういったマンションにお住まいの方が駅前方面を回遊することもあるでしょうし、逆に市外に出ていくこともあると思う。そのため、先ほど意見があったようにそのお客様が何の客層なのかというところは、こういった機会に改めて見ていく必要があると考える。あと私の方から、ハードの部分で2点ほど確認をさせていただきたい。1点目が、港を活かしたまちづくりについて今後計画している事業があればお聞かせいただきたい。2点目に公設地方卸売市場の再整備の計画についてもお聞かせいただきたい。

事務局：みなとまち木更津再生プロジェクトについては、現在パークベイプロジェクトとしてまず鳥居崎海浜公園の整備が完了している。続いて、現在吾妻公園の文化芸術施設を建設する計画が進んでいる状況である。その中で、カフェなど民間の力を活用できないかといったところを検討している。また、中の島公園について今後数年間は継続的に橋の改修工事を行う予定であり、すぐに事業化することは難しい状況だが、港まつりなどのイベントで活用していく予定である。中心市街地活性化基本計画（第2期）の計画の中でこれらの計画、イベントを盛り込んでいけるか検討していきたいと考えている。卸売市場の再整備については、木更津市経済部長の伊藤委員より回答します。

伊藤委員：市場の再整備については、建設場所として現在の場所と市の旧庁舎があった場所の2ヶ所で検討する中で、検討委員会と審議会を開催し、審議会の中で旧庁舎の場所に建てるという方向になっているが、市議会への説明は終えていないため、ここではっきりと申し上げることはできない。

鈴木委員：前回の協議会で市場の支援状況について質問した際は、市場の方からの相談に乗ることはできるという回答であったが、その後市場の方から支援の要望はあったのかお聞かせいただきたい。また、市場の中の会社が倒産しそうな場合、どのような支援があるか、お聞かせいただきたい。

伊藤委員：まず市場からの要望について、施設が古いため様々な要望があり、要望全てを聞くというわけにはなかなかいかないが、予算の範囲内で修理を行っている。また仮に、市場に入っている業者が倒産したらという話だが、市としてはそうならないような仕組みづくりを現在市場と進めており、仮定の話で倒産した場合はどうなるということについては、現時点では話を進めていない。

鈴木委員：前回もう1点質問した木更津駅のホームレスの件で、夏の暖かい時期はいなくなっていたが、最近寒くなってきており、たまに駅で座り込んでいる。駅構内から退去していただくためにどのような手段を使ったのかということと、前回も申し上げたが、千葉信用金庫の裏の公園で生活されているという現状であり、計画内のエリアにそういったホームレスがいるということについて、

市としてどう支援していくつもりか、お聞かせいただきたい。

事務局：前回の協議会の後、木更津駅と市の地域政策室と福祉部の職員、木更津警察署、地域包括支援センター、保健所の関係者を集めた打ち合わせを6月に開催し、港まつりまでに何かしらの対策がとれるよう協議を行った。まずは、口頭での注意や張り紙等をして1ヶ月程経過を見たが、なかなか変化がないというところで、関係者全員で集まり、協力して声掛けをした。その際にコミュニケーション等を図ったが、円滑なコミュニケーションが図れる状況ではなく、市の福祉部の方から福祉的なサポートが必要であれば支援していくというような話もしたが、本人としては助けはらないというような反応を示していたため、駅構内に継続して居ると危ないということを伝えて動いていただいた状況である。直近でまた戻ってきていることもあるが、木更津駅の方から長時間居座るようであれば声を掛け、移動してもらっている。福祉部の方では継続的にサポートを働きかけているが、本人にそれを受ける意思がないため、現在もそういったサポートには至っていない。今後も、継続的に声掛けを行っていきたいと考えている。

鈴木委員：ありがとうございます。私自身も毎朝見ているが心配なので、市営住宅に入居してもらうなど、住環境の整備なども検討してほしい。

齋藤委員：中心市街地活性化に関する取り組みの検証ということで、出店者が増加しているとのことだが、逆に撤退されていくマイナスの方は把握しているのかお聞かせいただきたい。

事務局：マイナスの数値については、現状ではエリア全体を把握した数値はとれていない。出店数についても中心市街地全体の出店数ではなく、中活計画に掲載された事業を活用した出店数を記載している。2期計画の策定にあたり、わかりやすい数値が取れないか調べていきたいと考えている。

齋藤委員：ありがとうございます。市内でも中心市街地に限ったことではないが、行列店が辞めてしまうという事態があった。若い方で、そういったお店を継ぎたいと思う方も居ると思うので、お店を辞めてしまう時も、中心市街地で出店すると辞める時も支援があるといいと思う。また、中心市街地にマンションが建設され都内からの移住者も増えているが、車を持ってない場合が多い。そういった方に、一番困っていることを聞くと口をそろえてスーパーがなく、食材を買いに行けず困っていると話を聞いている。そのため、そういった住んでいる人のニーズに重点を置いて、こういった計画などを策定していただきたい。

北野会長：資料報告1の12ページにある中心市街地活性化の課題が挙げられており、課題1に賑わいを面的に広げると書かれているが、人口が爆発的に増える際の面的な拡大というのは理解できるが、面ではなく、小さな拠点で広がっていきそれが緩やかに繋がるというのが、これからの時代の中心市街地活性化だと思っている。特に木更津市は駅前や港、市場、鳥居崎海浜公園、さらに吾

妻公園など様々な小さな拠点があって、そういったものの繋がりの中で、回遊性を向上させるイメージである。回遊性という言葉は30年ぐらい前から使われているが、円を描くように回ることを一般的に回遊と言うが、そうでなくても木更津市の回遊性のイメージのようにそれぞれの拠点を移動することも回遊と呼べる。木更津市の駅や港、など様々な施設があるという立地条件を生かして、中心市街地の活性化を表現できるといいと思っている。

(2) 令和5年度木更津市中心市街地活性化協議会ユース部会活動報告について

〔質疑〕

鈴木委員：11月18日に木更津駅西口で子供まつり開催されているが、ユース部会の皆さんも、来年はそこに参加されたらと思うがいかがか。

事務局：新型コロナの5類移行により、中活エリア内でもイベント開催が戻ってきているので、今後は地域の団体と連携した参加を検討したいと思っている。

齋藤委員：以前から、まちづくりに参画した子供たちに何かご褒美をあげて欲しいと話をしてきたが、何かかそういったものはあるのかお聞かせいただきたい。

事務局：ユース部会の活動の参加者には、ボランティア証明書を発行しており、学校によっては、ボランティア活動により単位がもらえるところもあるので、活用してもらっている。また、今年の会員で推薦入試の自己PRとしてユース部会での活動の報告書を作った学生もいれば、事務局にて大学入試の推薦を行うなど、学生にとってもメリットのあるように取り組んでいる。

齋藤委員：ありがとうございます。

(2) その他連絡事項

事務局：本協議会の監事を務めている一般社団法人かずさ青年会議所理事長の金見代委員が任期満了により理事長を退任する予定であるため、役員の変更について年明けに書面にて協議会を開催する可能性がある旨説明。

5 閉会